

加算措置の要件や目標設定について

本資料は、現在の協定内で取り組んでいる内容を加算措置の取組に結び付けやすくするため、各加算措置における留意事項や取組例示などをまとめたものです。

第 5 期対策から各種加算措置が新設・拡充されているため、本資料を参考とし、協定内での話し合いにより取組の判断や目標設定等を行ってください。

【参考】協定書の加算目標確認におけるチェック項目

市では、以下の項目に従い取組内容や目標数値の確認等を行いますので、目標項目や数値等を設定する際の参考としてください。

- ① 加算措置の目的に合致したものとなっているか
- ② 定量的な目標となっているか（超急傾斜加算を除く）
注意：組織の立ち上げ(0→1)なども定量的目標とみなす
- ③ 他の加算と目標が重複していないか
- ④ 達成水準が、地域の状況からみて妥当なものとなっているか
- ⑤ 期間は妥当なものとなっているか
- ⑥ 加算措置で受けとる交付額に見合うものとなっているか
- ⑦ 第三者から見て成果が分かりやすいものとなっているか
注意：【×】◇◇を購入する ※行為自体は目標として不適切
【○】◇◇を購入し、令和元年度○○を令和 6 年度までに○○にする
◇◇を購入し、年○回○○を開催する

各表上「PO」の記載は、国パンフレット掲載ページを表す。

① 棚田地域振興活動加算[新設] (傾斜 1/20 以上 10 千円/10a 上限なし) P8

留意事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市指定棚田地域振興活動計画に基づき棚田地域の振興を図る活動を行う場合に加算 (集落協定からの取組意向に基づき、市が棚田地域の指定に向けた手続きを行うほか、<u>指定を受けた棚田地域において、地区協議会の設置や地区計画の策定等が必要。令和 4 年度以降の取組意向がある協定は別途お問い合わせください</u>) ・定量的な目標設定が必須(棚田計画の目標区分ごとに1つ以上、最低 3 つの目標設定が必要。<u>協定書には「棚田の価値を活かした活動(地域の実情に応じたもの)」、「集落機能強化(人材の確保を含む)」及び「生産性向上」に関する 3 つの目標を設定</u>)
-------	---

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="443 273 603 371"> 棚田計画上 の活動区分 [例示あり] </td> <td data-bbox="603 273 1348 371"> ア 棚田等の保全 イ 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮 ウ 棚田を核とした棚田地域の振興 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">↓整合↑</td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 407 603 528"> 協定書目標 設定上の留 意事項 </td> <td data-bbox="603 407 1348 528"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田の価値を活かした活動(地域の実情に応じたもの)に関する目標 ・ 集落機能強化(人材の確保を含む)に関する目標 [例示あり] ・ 生産性向上に関する目標 [例示あり] </td> </tr> </table>	棚田計画上 の活動区分 [例示あり]	ア 棚田等の保全 イ 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮 ウ 棚田を核とした棚田地域の振興	↓整合↑		協定書目標 設定上の留 意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田の価値を活かした活動(地域の実情に応じたもの)に関する目標 ・ 集落機能強化(人材の確保を含む)に関する目標 [例示あり] ・ 生産性向上に関する目標 [例示あり] 						
棚田計画上 の活動区分 [例示あり]	ア 棚田等の保全 イ 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮 ウ 棚田を核とした棚田地域の振興												
↓整合↑													
協定書目標 設定上の留 意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田の価値を活かした活動(地域の実情に応じたもの)に関する目標 ・ 集落機能強化(人材の確保を含む)に関する目標 [例示あり] ・ 生産性向上に関する目標 [例示あり] 												
目標設定 (例示)	<p>以下は例示であり、各目標項目は地区協議会で策定した地区計画の活動内容との整合が必要(計画に定めのない内容は目標設定不可)</p> <p>○棚田計画上の活動区分毎の取組の例示</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="427 696 831 723"> <u>ア 棚田等の保全に関する取組 (例)</u> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 723 1358 786"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田法面の補修、耕作道や棚田進入路等の農作業安全対策の実施、棚田からの土壌流出防止対策の実施等 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 786 1262 813"> <u>イ 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮に関する取組 (例)</u> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 813 1358 875"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物の供給の促進、自然環境の保全・活用、良好な景観の形成、伝統文化の継承等 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 875 879 902"> <u>ウ 棚田を核とした棚田地域の振興 (例)</u> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 902 1358 965"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興、棚田を観光資源とした地域振興、棚田米等を活用した6次産業化の推進等 </td> </tr> </table> <p>○協定書目標設定上の留意事項における目標設定の例示</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="427 1021 1214 1048"> <u>棚田の価値を活かした活動(地域の実情に応じたもの)に関する目標 (例)</u> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1048 619 1075"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国・県に確認中 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1075 1023 1102"> <u>集落機能強化(人材の確保を含む。)に関する目標 (例)</u> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1102 1358 1335"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和〇年度(加算交付最終年度)までに、新規就農者を〇名確保する。 ・ 令和〇年度までに、ゆずの収穫ボランティア(現状〇名)を〇名増員する。 ・ 令和〇年度までに、インターンシップ生の延べ活動日数を令和2年度の〇日から〇日に増加する。 ・ 地域運営組織を設立し、令和〇年度までに高齢者見回りサービスを開始する。 ・ NPO 法人と連携し、令和〇年度までに公共交通の空白地域でのコミュニティバス事業を開始する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1335 751 1361"> <u>生産性向上に関する目標 (例)</u> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="427 1361 1358 1491"> <ul style="list-style-type: none"> ・ アスパラの生産量(現状〇トン)を令和〇年度までに〇%上昇させる。 ・ 農業機械を共同利用する協定農用地(現状〇ha)を令和〇年度までに〇%増やす。 ・ ブランド米の栽培面積(現状〇ha)を令和〇年度までに〇%増やす。 ・ 令和〇年度までに、担い手に協定農用地〇haを集積する(現状〇ha)。 </td> </tr> </table>	<u>ア 棚田等の保全に関する取組 (例)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田法面の補修、耕作道や棚田進入路等の農作業安全対策の実施、棚田からの土壌流出防止対策の実施等 	<u>イ 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮に関する取組 (例)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物の供給の促進、自然環境の保全・活用、良好な景観の形成、伝統文化の継承等 	<u>ウ 棚田を核とした棚田地域の振興 (例)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興、棚田を観光資源とした地域振興、棚田米等を活用した6次産業化の推進等 	<u>棚田の価値を活かした活動(地域の実情に応じたもの)に関する目標 (例)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国・県に確認中 	<u>集落機能強化(人材の確保を含む。)に関する目標 (例)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和〇年度(加算交付最終年度)までに、新規就農者を〇名確保する。 ・ 令和〇年度までに、ゆずの収穫ボランティア(現状〇名)を〇名増員する。 ・ 令和〇年度までに、インターンシップ生の延べ活動日数を令和2年度の〇日から〇日に増加する。 ・ 地域運営組織を設立し、令和〇年度までに高齢者見回りサービスを開始する。 ・ NPO 法人と連携し、令和〇年度までに公共交通の空白地域でのコミュニティバス事業を開始する。 	<u>生産性向上に関する目標 (例)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アスパラの生産量(現状〇トン)を令和〇年度までに〇%上昇させる。 ・ 農業機械を共同利用する協定農用地(現状〇ha)を令和〇年度までに〇%増やす。 ・ ブランド米の栽培面積(現状〇ha)を令和〇年度までに〇%増やす。 ・ 令和〇年度までに、担い手に協定農用地〇haを集積する(現状〇ha)。
<u>ア 棚田等の保全に関する取組 (例)</u>													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田法面の補修、耕作道や棚田進入路等の農作業安全対策の実施、棚田からの土壌流出防止対策の実施等 													
<u>イ 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮に関する取組 (例)</u>													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物の供給の促進、自然環境の保全・活用、良好な景観の形成、伝統文化の継承等 													
<u>ウ 棚田を核とした棚田地域の振興 (例)</u>													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興、棚田を観光資源とした地域振興、棚田米等を活用した6次産業化の推進等 													
<u>棚田の価値を活かした活動(地域の実情に応じたもの)に関する目標 (例)</u>													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国・県に確認中 													
<u>集落機能強化(人材の確保を含む。)に関する目標 (例)</u>													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和〇年度(加算交付最終年度)までに、新規就農者を〇名確保する。 ・ 令和〇年度までに、ゆずの収穫ボランティア(現状〇名)を〇名増員する。 ・ 令和〇年度までに、インターンシップ生の延べ活動日数を令和2年度の〇日から〇日に増加する。 ・ 地域運営組織を設立し、令和〇年度までに高齢者見回りサービスを開始する。 ・ NPO 法人と連携し、令和〇年度までに公共交通の空白地域でのコミュニティバス事業を開始する。 													
<u>生産性向上に関する目標 (例)</u>													
<ul style="list-style-type: none"> ・ アスパラの生産量(現状〇トン)を令和〇年度までに〇%上昇させる。 ・ 農業機械を共同利用する協定農用地(現状〇ha)を令和〇年度までに〇%増やす。 ・ ブランド米の栽培面積(現状〇ha)を令和〇年度までに〇%増やす。 ・ 令和〇年度までに、担い手に協定農用地〇haを集積する(現状〇ha)。 													

② 超急傾斜農地保全管理加算[継続](傾斜1/10以上6千円/10a 上限なし) P8	
留意事項 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下の2項目について取組が必要 <ul style="list-style-type: none"> ア 超急傾斜農地の保全 <ul style="list-style-type: none"> 石積み法面の補修、耕作道やほ場進入路等の農作業安全対策の実施、団地外への土壌流出防止対策の実施等 イ 超急傾斜農地で生産される農産物の販売促進等 <ul style="list-style-type: none"> 農産物のブランド化や戦略的な販売に向けた取組等 ・ 行動(取組)目標を設定(定量的な目標設定は不要)

<p>目標設定 (例示)</p>	<p>以下は例示であり、既に取り組んでいる内容を基本に設定</p> <p><u>ア 超急傾斜農地の保全に関する目標 (例)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該農地の法面について、石積みの補修 [防草シートの設置等] による適切な維持管理を実施する。 ・当該農地において農業機械使用時における安全確保のため、耕作道やほ場進入路の維持管理を実施する。 ・農作業の安全性を確保するため、石積み法面に除草等の作業足場 [段差等] の設置、ほ場進入路の緩傾斜への改良等を実施する。 ・当該農地に隣接している林地等からの土壌流入や農地から地区外への土壌流出を防止するため、側溝やグリーンベルト等を設置する。 ・当該農地において散水施設や農薬散布機械の整備を行い、農作業の軽減を図る。 ・既存の施設を活用し共同防除体制(作業分担や共同防除区域の設定等)の構築を行う。 ・鳥獣害防止のため、当該農地を含む協定農用地周縁部 (当該農地のみでも可) において設置されているワイヤーメッシュや電気柵等を点検、草刈、損傷箇所の補修等を行い適切に維持する。 ・鳥獣害防止のため、当該農地を含む協定農用地周縁部 (当該農地のみでも可) において、ワイヤーメッシュや電気柵等を設置する。 <p><u>イ 超急傾斜農地で生産される農産物の販売促進等に関する目標 (例)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産される農産物 (〇〇〇) をPRするため、共通パッケージを作成し、農産物販売時に活用する。 ・生産される農産物 (〇〇〇) をPRするため、パンフレットを作成し、消費者等への周知を図る。 ・生産される農産物 (〇〇〇) の加工品を製造し、直売所で販売する。 ・生産される農産物 (〇〇〇) をJA△△ (△△市) のブランド化等の取組に沿ってPR、販売する。 ・生産される農産物 (〇〇〇) をJA△△ (△△市) のイベントにおいてPRする。 ・生産される農産物 (〇〇〇) や農地の景観写真等を市町村やJAのHPにおいてPRする。 ・法面にカバープランツ (〇〇) を植栽し、景観づくりを行い、都市住民のPRを図る。 ・低農薬、低化学肥料による生産や生物の生息環境確保等の環境に配慮した農業に取り組む、都市住民へのPRを図る。 ・都市住民の参加を得て農作業体験を行う。 ・景観や生産物を活用した、都市からの来訪者のための交流施設(カフェ等)や休憩施設等を運営する。 ・都市住民を対象とする棚田オーナー制度を実施する。
----------------------	--

<p>③ 集落協定広域化加算[拡充] (3千円/10a 上限 200万円) P9</p>	
<p>留意事項 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出身が地域の内外にかかわらず、集落協定組織、集落協定内の農業生産組織、加工・販売などの6次産業化に取り組む組織が行う地域の活動において中心的な役割を担うことが見込まれる者を、これら組織の構成員とし、 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 主導的な役割を担う人材の確保のみを行う (単純広域化) 場合は、単年度限り交付 ⇒ 広域化により実現する農業生産活動等の継続のための取組を行う場合は、最長令和6年度までの交付(この場合、定量的な目標設定(1つ以上)が必須)

<p>目標設定 (例示)</p>	<p><u>ア 取組期間が1年間である場合の目標 (例)</u> 協定認定年度内に主導的な役割を担う人材 (A氏) を確保し、目標を設定する必要がある。 ・令和2年度に、○○広域協定と△△広域協定が統合し、新たな広域協定を締結 ・令和2年度に、□□集落協定が隣接する▽▽集落とともに、広域協定を締結</p> <p><u>イ 取組期間が2～5年間である場合の目標 (例)</u> 協定認定年度又は次年度 (令和2年度又は3年度) 内に主導的な役割を担う人材 (B氏) を確保し、協定の広域化を実施した上に、加えて、地域の実態に応じて、①外部人材の確保、②地域づくりなどの団体の設立、③生産効率の向上等に取り組む必要がある。 【①～③例】 ①令和○年度までに、援農ボランティアの登録人数を○名増加させる。(現状○名) ②令和○年度までに集落内に除雪支援組織を設立し、高齢者の雪下ろしを支援する(令和○年度までに○世帯をカバー)。 ③令和○年度までに、担い手に協定農用地○haを集積する。(現状○ha集積)</p>
----------------------	--

④ 集落機能強化加算[新設] (3千円/10a 上限 200万円) P9

<p>留意事項 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態に応じた、<u>外部人材の確保、移住促進、地域づくりなどの団体の設立、集落機能を強化するために行う集落内外の組織との連携体制の構築等の取組</u>が対象 ・<u>定量的な目標設定(1つ以上)が必須</u>
<p>目標設定 (例示)</p>	<p><u>集落機能強化 (人材の確保を含む。)に関する目標 (例)</u> 再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和○年度 (加算交付最終年度) までに、新規就農者を○名確保する。 ・令和○年度までに、ゆずの収穫ボランティア (現状○名) を○名増員する。 ・令和○年度までに、インターンシップ生の延べ活動日数を令和2年度の○日から○日に増加する。 ・地域運営組織を設立し、令和○年度までに高齢者見回りサービスを開始する。 ・NPO 法人と連携し、令和○年度までに公共交通の空白地域でのコミュニティバス事業を開始する。

⑤ 生産性向上加算[新設] (3千円/10a 上限 200万円) P10

<p>留意事項 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態に応じた、<u>生産効率の向上、管理の省力化、営農の省力化、高付加価値型農業の実践、地場産農産物等の加工・販売等の取組</u>が対象 ・<u>定量的な目標設定(1つ以上)が必須</u>
<p>目標設定 (例示)</p>	<p><u>生産性向上に関する目標 (例)</u> 再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスパラの生産量 (現状○トン) を令和○年度までに○%上昇させる。 ・農業機械を共同利用する協定農用地 (現状○ha) を令和○年度までに○%増やす。 ・ブランド米の栽培面積 (現状○ha) を令和○年度までに○%増やす。 ・令和○年度までに、担い手に協定農用地○haを集積する (現状○ha)。